

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 高齢者福祉の充実

基本事業 地域交流と社会参加の促進

事業名 **高齢者クラブ生きがい支援推進事業**

[0213]

部名	健康福祉部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	介護保険課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市高齢者クラブ連合会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>高齢者クラブが行う会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーションや地域での交流などの活動を促進し、高齢者が生きがいを持つ。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>申請により補助金を交付し、活動内容を報告してもらう 運営費補助 会員</p> <p>1人～ 50人 61,800円 51人～ 100人 72,600円 101人～ 150人 83,400円 151人以上 94,200円</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	構成団体数	団体	63	65	64	64
対象指標2	高齢者クラブ会員数	人	4,425	4,376	4,256	4,256
活動指標1	補助金額	千円	6,743	6,805	6,788	6,789
活動指標2						
成果指標1	高齢者(60歳以上)の高齢者クラブ加入者割合	%	12.9	12.27	11.68	11.45
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	6,743	6,805	6,788	6,789
正職員人件費(B)		千円	251	249	242	244
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		<b>千円</b>	<b>6,994</b>	<b>7,054</b>	<b>7,030</b>	<b>7,033</b>

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 6,788千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	昭和39年より開始された事業で、国の補助事業であり、全国の自治体で実施されている。クラブ数及び加入者数がやや減少ぎみである。
--------	--	-------------	--

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

高齢化社会の進展にともなって高齢者の社会参加のあり方や老後の生活における生きがいづくりが重要な課題となっている。このため、高齢者の自主的な活動組織である高齢者クラブ及び連合会に対し、補助金を交付することにより組織の充実化を図り課題の解決を図ることができる。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

組織化率が年々落ちていくことが予想されるが、交流の場としては一定の貢献度はある。ただし、交流、生きがいについても、個人志向の傾向が強まるとクラブへの所属率が落ち、貢献度は小さくなる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

高齢者の意識の変化により参加者が減少し、組織率も低下してきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

高齢者が構成員のクラブに対する財政的援助であるが、個人志向の傾向が強まりつつあり、クラブへの所属率が落ち、成果向上余地は小さい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

基準に基づく補助金のみ予算化している。